

問い合わせ先
第八管区海上保安本部
広報地域連携室
奥野 哲也・今出 高廣
電話 0773-76-4100（内線 2111・2117）



平成29年5月25日
第八管区海上保安本部

海にごみを捨てない・船から油を流さない！

6月は「海洋環境保全推進月間」です！

～美しい日本海を守るために～

八管区では、6月の「海洋環境保全推進月間」において、漁業・海事関係者に対するのビルジ^{*}・廃棄物の適正な処理、船舶からの漏油防止にかかる指導及び低年齢層や一般市民に対するの海洋環境保全啓発活動を重点的に実施します。

また、6月1日から「第18回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」の作品募集を開始します。

※ビルジとは 船の機関室等に溜まった油と水が混ざりあったもの

1 環境保全啓発活動

昨年、平成28年中に八管区内（福井県～島根県）で確認された海洋汚染発生件数は28件で、油類の汚染が15件、廃棄物の投棄が13件でした。

このことを受け、下記のとおり、環境保全啓発活動を行います。

（資料1参照）

- 漁業・海事関係者に対して
ビルジ・廃棄物の適正な処理、船舶からの漏油事故の防止指導、講習会の実施
- マリーナ・釣具店等に対して
マリンレジャー活動に伴って発生するごみ等の適正な処理を一般利用客に広く呼び掛けてもらうよう協力を依頼
- 子供たちに対して
海洋環境保全教室の実施
- 一般市民に対して
各種イベント等における環境保全啓発活動

（資料2，3参照）

2 第18回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール

海上保安庁では、将来を担う子どもたちに海洋環境について考える機会を設け、海洋環境保全思想の普及を目的として、「第18回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」の募集を開始します。

（資料4参照）

資料 1

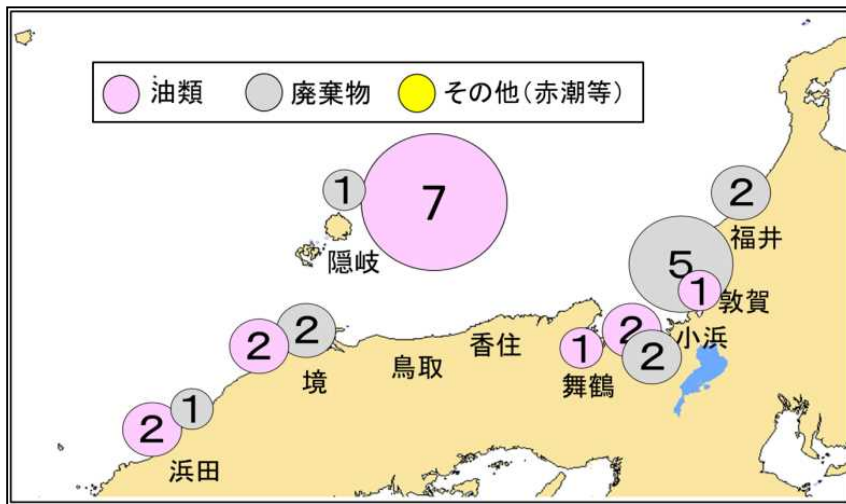
平成 2 8 年 管内海洋汚染確認状況

○ 海洋汚染確認件数は 2 8 件（前年比 7 件増）

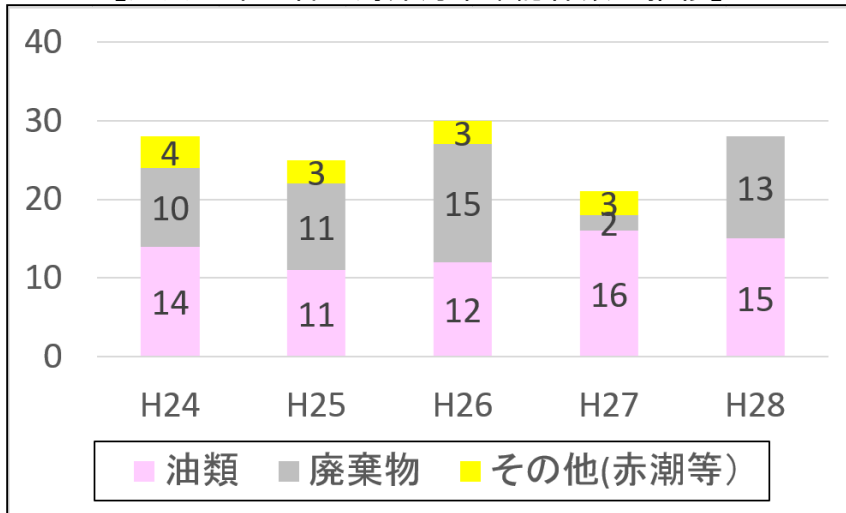
平成 2 8 年における当管区の海洋汚染確認件数については 2 8 件で、前年に比べ 7 件増加しており、全国的にも増加傾向にあります。

油類の汚染は 1 5 件と略前年と同数であるのに対し、廃棄物の投棄が 1 3 件で前年に比べ 1 1 件増加し、うち 6 割（8 件）が漁業・海事関係者以外の一般市民によるものでした。

【平成 2 8 年の管内海洋汚染確認分布図】



【過去 5 年の管内海洋汚染確認件数の推移】



※環境の日（6月5日）・環境月間（6月）とは

1972年6月5日、ストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して「環境の日」が定められました。また併せて、わが国では環境省の主唱により、平成3年度から6月の一ヶ月間を「環境月間」とし、全国で様々な行事啓発活動行われています。

資料 2

平成29年度 海洋環境保全推進活動

海上保安庁では、海上環境関係法令の遵守励行と海洋環境保全思想の高揚を図り、もって海洋環境保全に資することを目的とし、漁業・海事、マリンレジャー関係者などを対象とした各種指導・啓発活動を関係機関等と連携して実施します。

1 実施期間

平成29年6月1日（目）から6月30日（金）までの間

2 重点事項

廃棄物の不法投棄・油類の不法排出による海洋汚染の防止

3 活動内容

(1) 漁業・海事関係者及びマリーナ・釣具店に対する指導・啓発



漁業関係者や船舶燃料取扱事業所等の海事関係者を訪問・訪船し、ビルジや廃棄物等の適正処理、給油時における漏油事故の防止について、指導及び啓発活動を行います。

また、プレジャーボート・遊漁船での釣り等マリンレジャー活動に伴って発生するごみ等の適正処理について、利用客等に広く声掛けを行うよう協力を依頼します。

(2) 子供たち等一般市民に対する啓発



低年齢層に対しては海洋環境保全教室等を開催し意識高揚を図ります。



また、地域で実施される関係イベント等において、来訪者等に対して、環境保全啓発グッズを配布するほか、海浜清掃活動に併せた漂着ごみ分類調査の実施、海洋環境保全にかかる横断幕の掲示、巡視船艇のライトメールによる周知等、積極的な海洋環境保全啓発活動を実施します。

資料3

平成29年6月海洋環境保全推進月間中の主な活動予定

	実施予定日	活動	担当部署
1	6月下旬	海浜清掃及び漂着ごみ分類調査 イベント名:DSCC海の大掃除 実施主体:DSCC 実施場所:京都府舞鶴市三浜海水浴場	舞鶴海上保安部
2	6月3日	海浜清掃及び啓発活動 イベント名:(未定) 実施主体:ブルーフラッグアカデミー 実施場所:福井県高浜町若狭和田海水浴場	小浜海上保安署
3	6月14日	地元小学生に対する海洋環境保全教室	敦賀海上保安部
4	6月5日 6月6日	地元小学生に対する海洋環境保全教室	宮津海上保安署
6	6月中旬~7月	地元小学生に対する海洋環境保全教室	浜田海上保安部

※ DSCCとは「福井・京都地区スキューバダイビング安全対策協議会(FUKUI&KYOTO Diving Safety Countermeasure Consultation)」の略。若狭湾沿岸及び沖合海域を利用するスキューバダイビング関係者で構成する協議会

※ブルーフラッグアカデミーとはブルーフラッグ取得維持のための団体で、地域との繋がりを深める企画運営、環境教室(ごみ拾い、紙芝居を使用し小中学生に説明)を実施する団体。

※ブルーフラッグとは FEE(フィー)という国際的な環境団体が行う、優れたビーチやマリナーを認める取り組み。

詳細については、担当部署にお問い合わせ下さい

資料4

第18回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール

募集テーマ:「未来に残そう青い海」

募集期間:平成29年6月1日(木)から9月8日(金)までの間

募集部門:小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の部

優秀作品については表彰を行うとともに、海洋環境保全ポスターや海上保安庁の印刷物に使用します。

応募方法の詳細については第八管区海上保安本部ホームページに掲載予定です。

○昨年(28年)応募数

八管区内: 1, 313点(小学生低学年の部662点、小学生高学年の部364点、中学生の部287点)

全国総数:33, 297点

第17回コンクールの受賞作品の一例です。

第八管区海上保安本部長賞



小学生低学年の部
武田 佳乃(たけだ よしの)さん
福井県三浜町立美浜西小学校 2年生

第八管区海上保安本部長賞



小学生高学年の部
川本 錬(かわもと れん)さん
島根県益田市立吉田小学校 6年生

海上保安協会舞鶴地方本部長賞



中学生の部
村上 優音(むらかみ ゆうの)さん
島根県益田市立益田中学校 3年生